



平成 19年 3月期

第 1 四半期業績の概況 (連結)

平成 18年 8月 7日

上 場 会 社 名

電気化学工業株式会社

(コード番号 : 4061 東証第1部)

(URL <http://www.denka.co.jp>)

問合せ先 代表者役職・氏名

代表取締役社長

川 端 世 輝

責任者役職・氏名

常務取締役

南 井 宏 二

TEL (03) 5290 - 5512

1. 四半期業績の概況の作成に係る事項

- ①会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有  
減価償却費や法人税等の計上など、一部簡便的な方法を採用しております。
- ②最近連結会計年度からの会計処理方法の変更の有無 : 無
- ③連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成19年3月期第1四半期業績の概況 (平成 18年 4月 1日 ~ 平成 18年 6月 30日)

(1) 経営成績 (連結) の進捗状況

(注) 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	売 上 高		営 業 利 益		経 常 利 益		四半期 (当期) 純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年 3月期第 1 四半期	74,479	5.9	4,704	△ 5.9	4,037	△ 9.0	2,561	△ 11.2
18年 3月期第 1 四半期	70,323	13.7	4,997	7.8	4,435	12.9	2,884	29.9
(参考) 18年3月期	307,923		26,069		23,913		15,365	

	1 株 当 たり 四半期 (当期) 純利益	潜在株式調整後 1 株 当 たり 四半期 (当期) 純利益
	円 銭	円 銭
19年 3月期第 1 四半期	5.21	—
18年 3月期第 1 四半期	5.87	—
(参考) 18年3月期	31.08	—

(注) 1. 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年第1四半期増減率であります。

(2) 事業の種類別売上高

	19年3月期 第 1 四半期	18年3月期 第 1 四半期	(参考) 18年3月期
	百万円	百万円	百万円
有機系素材事業	34,640	32,859	135,527
無機系素材事業	11,174	10,772	49,557
電子材料事業	8,945	7,489	33,224
機能・加工製品事業	12,684	12,840	56,023
その他事業	7,033	6,360	33,590
全社計	74,479	70,323	307,923

【参考】平成19年3月期の連結業績予想 (平成 18年 4月 1日 ~ 平成 19年 3月 31日)

中間期、通期とも平成18年5月11日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円
中間期	156,000	12,000	8,000
通 期	322,000	24,500	16,000

(参考) 1株当たり予想当期純利益 (通期) 32円56銭

※ 上記の予想は、本資料の発表日現在における将来の経済環境予想等の前提に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる結果となる場合があります。

[ 経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等 ]

当第1四半期のわが国経済は、企業収益の改善に加え、設備投資及び個人消費も拡大するなど、引き続き緩やかな回復基調で推移しましたが、原油価格の高騰や金利の上昇などが企業収益の懸念材料となっております。

このような状況のもと、当社グループは業容の拡大と収益の確保に努めました結果、当第1四半期の**売上高**は74,479百万円（前年同期比5.9%増）となりましたが、原材料価格の高騰等の影響により、**営業利益**は4,704百万円（前年同期比5.9%減）となりました。また、持分法適用会社の収支悪化に伴う投資利益の減少などにより、**経常利益**は4,037百万円（前年同期比9.0%減）、**当四半期純利益**は2,561百万円（前年同期比11.2%減）となりました。

有機系素材事業では、**ステレンモノマー**は隔年実施の定期修繕を当第1四半期に行ったことに伴う生産数量の減少により輸出の販売数量が大幅に減少しました。子会社**デンカシンガポール P.L.**の**ポリステレン樹脂**は中国他の需要が低迷するとともにアジア市況が軟化し減収となりました。機能性樹脂は**透明ポリマー**を中心に販売数量を伸ばし増収となりました。**クロロプレングム**の輸出は、自動車用途や接着剤用途を中心に販売数量を伸ばし増収となりました。

無機系素材事業では、無機化学品は耐火物の数量増により増収となりました。**セメント**は、主要販売地区である新潟地区での災害復興需要などにより販売数量が伸びて増収となりました。特殊混和材は**“ナトミック”**や**補修材・注入材**等、総じて好調に販売数量を伸ばし増収となりました。

電子材料事業では、電子部材の**電子回路基板**は、産業機器や電鉄向けを中心に販売数量が増加しました。機能性セラミックスは、半導体封止材向け**球状溶融シリカフィラー**が当社及び子会社**デンカアドバンテック P.L.**（シンガポール）ともに販売数量を伸ばし増収となりました。電子包材は、半導体搬送用の**チップキャリアテープ**の販売数量が増加し増収となりました。

機能・加工製品事業では、産業資材は**合繊かつら用原糸“トヨカロン”**が販売数量を伸ばし増収となりましたが、包装資材や建築資材は減収となりました。医薬におきましては、**関節機能改善剤“スペニール”**は順調に販売数量を伸ばしましたが、子会社の**デンカ生研株式会社**は、ワクチンおよび検査試薬ともに販売数量が減少し減収となりました。

その他の事業では、子会社**デンカエンジニアリング株式会社**の受注工事が増加し増収となりました。